1月12日 水曜日 11日発行
昭和30年西暦1955年
発行所 内外タイムス社 東京都中央区銀座3の5 電話（代表）京橋（56）8646 （直通）販売（〃）0437広告（〃）3995 編集局 港区芝田村町5の6 電話代表芝（43）1163番 東京振替貯金口座 170071番

内外タイムス
THE NAIGAI TIMES
第2974号 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可・昭和24年5月27日国鉄特別扱承認新聞紙第232号）
（中華民国郵政認為第二類新聞・内政内警証登報字第0136号）

4版

天気予報
今晩 北の風晴
明日 北の風晴のち一時曇
【全国概況】本邦付近は西高東低の冬型気圧配置が続いており、日

中ソと国交正常化へ
鳩山首相車中談
総選挙前にも呼掛け

【大阪発】鳩山首相は中国地方遊説のため十日午後九時半東京発〝筑紫〟で西下、岡山に向ったが、車中記者団と会見、後継者問題、保守合同、外交問題などについて語った、とくにソ連、中共との国交調整についてはその正常化を欲しているのは日本として当然のことであり、国際関係の正常化のため中ソ両国にたいし総選挙前に日本がイニシアティヴをとって積極的な呼びかけを行うチャンスがあるだろうと言明、重光外相の中ソ関係は外交上日本にとっては第三の問題であるという考えとは大きな開きがあり注目される

軽々な引退考えず

首相談話の要旨次のとおり

一、後継問題について＝次期政権の担当を二年くらいで辞めるというようなウワサがあり、各地から絶対反対という電報もしきりにきているし、反対の意向を伝える訪問者も多い、選挙後の政局担当という責任の重大なことを考えている、信を国民に問うてすぐ辞めるという無責任なことは考えてない

保守合同必要なし

一、保守合同について＝緒方君が大阪で保守合同について演説しているようだが、私はいま自由党と合同するなど考えていない、民主党の目的は絶対多数をとるというのだから、これと相反するような考えはない、自由党としてはゆくゆく合同するといって党員の民主党への鞍がえを防いでいるのだろう、民主党は国会で絶対多数をとるのだから政局は安定し保守合同の必要はなくなる、合同によらなくても政局の安定は期すると思っている、国民が自由党なり民主党なりに投票した直後合同するというのは周囲の情勢によほど変化がなければ考えられるものでなく、第一筋が違うと思う

一、解散について＝その方法は憲法第七条によって解散することが当然だと思う、その前に四党幹事長、書記長会談などで解散することになろうが、技術的なことは岸幹事長に任せてある

国会に憲法調査会

一、憲法改正について＝特別国会で超党派的な憲法調査会を作り、そこで検討のうえ、草案を得たら適当な時期に国会に提案したい、また外交と経済を総選挙がすめば超党派的方法でやりたい、憲法改正調査会は国会に置きたい

一、国際問題について＝国際関係の正常化を欲しているのは日本としても当然である、正常化というのは戦争状態の終結を意味する、このための呼びかけは日本がイニシアチーブをとってやるべきで、総選挙前にはこの機会があるべきだと考えている、重光君の大分での談話は第一に親米、第二に東南アジアの善隣、第三に中ソ貿易といっているが、重光君のいうことも究極的には世界の平和を目的としているが、自分とは感覚的に多少違うようだ、歯舞、色丹についても交渉の過程で話合いがつくと思う、また米国をだし抜いてやるというのでなく、ソ連、中共との交渉過程を話してやれば米国が心配するようなこともなくうまく行くと考えている

大阪駅通過の鳩山首相（電送）

15日に政府与党首脳会談

根本官房長官は十一日早朝千込中町の私邸に三木民主党総務会長を訪れ、公認候補問題など当面の諸問題について約卅分間懇談、引続き渋谷南平台の私邸に岸幹事長を訪ね協議した結果、十五日、政府与党の首脳会議を開くことを決めた

農業借款一千万ドル
世銀 調査報告書で示唆

【ワシントン十日発＝共同】昨年来日本を訪れた世界銀行農業使節団はこのほど視察報告書を完成、理事会はじめ関係方面に配布した、同報告書に含まれている開発四計画と融資予定額は、愛知用水一千万ドル、八郎潟干拓三百万ドル、北海道泥炭地区開発二百五十ないし三百五十万ドルおよび北海道根釧、青森線上北両地区の機械開墾計画百五十万ドル、合計約千七百五十万ドルである

機械開墾については試験的に百五十万ドル位を貸して成績がよければさらに三百万ドル程度を追加する行き方を考えており、したがって農業開発借款額は結局二千万ドルないし二千百万ドルに達する見込である

『農産物処理』計画
米大統領 議会に報告

【ワシントン十日発AP＝共同】アイゼンハワー米大統領は十日、余剰農産物処理法が成立していらい六ヵ月間の同法の運営について議会に五千語に及ぶ報告を提出した、大統領はその中でつぎの諸点を明かにしている

一、議会は昨年政府が三ヵ年にわたって十億ドルの余剰農産物を処理する権限を認めた計画を可決したが、これにもとづいて五億七千八百万ドルの…ころトルコのみ）

ア大統領

総選挙戦の展望
茨城県

民主党の県支部は昨年末発足したが、自由党からの入党者は赤城宗徳代議士だけ、しかし鳩山内閣の評判は意外によく、これに反し自由党の人気は汚職がひびいてきわめて悪い、両社統一は労組などから積極的に要望されているが、左社は消極的で話し合いは進んでいない、現在両社とも独自の候補をたてゝ対策をねっている、右社は日立市を中心に県北炭鉱地帯で相当のびており、一般に左社より人気があるようだ

自由の牙城くずるか

第一区・定員四名 現役は葉梨新五郎（自）加藤高蔵（民）橋本登美三郎（自）内田信也（自）の四氏で、自由党は三名占めているがこのうち引退を決意した内田氏の代りに県会副議長山本正氏（新）をたてる予定、民主党は加藤現議員と大久保留次郎、中山栄一両元議員を推して一挙に自由党をけおとす作戦をすすめており、葉梨氏はあぶない、左社は宍戸寛氏（新）右社は沼田政次氏（新）をたてる、無所属の山口武秀氏（元）がどこまで食い込むかがみもの

第二区・定員三名 現役は自由党二（山崎猛、塚原俊郎両氏）民主一（大高康氏）となっている、左社は石川次夫氏（新）右社は元炭労議長の武藤武雄氏（新）労農は前回次点の石野久男氏（元）共産は高山嘉太郎氏（新）らが立つ予定で、あげ潮の民主は現役大高氏一人で手堅い作戦をとっており、山崎、大高両氏が優勢、塚原氏は危ない、あと革新陣営から石野氏か武藤氏がうかび上るのではないかとみられている

非勢の現役組二人

第三区・定員五名 現役は自由党の佐藤洋之助、丹羽喬四郎の両氏、民主の赤城宗徳氏と左社に入党した風見章氏の四名（原彪氏の死去で一名欠）で自由党はこの現役二名のほか北沢直吉氏（元）民主党は山本粂吉（元）清水浄（新）の両氏、左社は宮代徹氏（新）右社は細田綱吉氏（元）共産は池田峰雄氏（元）を公認の予定、四現役のうち佐藤、風見両氏は非勢で原氏の地盤を継ぐ清水氏と山本氏及び地盤固めに力を注いでいる右社の細田氏が進出するのではないかとみられる、無所属で皆川四郎平（新）赤荻豊幸（新）氏らが立つ予定

続 情炎の千代田城
熱望に応え十八日から新連載

岩崎栄 作
寺本忠雄 画

昨年三百回にわたって本紙に連載、圧倒的人気を博しました岩崎栄氏作『情炎の千代田城』の続篇が来る十八日から第四面に登場いたします。再登場は大方読者の熱望によりますが、続篇執筆にあたって作者の岩崎氏も異常なまでに熱意を示し『作者の言葉』にもありますように前篇の徳川五代将軍時代の千代田城大奥の図を、前篇にもまさる巧緻繊細なタッチで写しようと大変な張り切りようです。また挿絵は前篇に引続き、名コンビの寺本忠雄氏がいたします。なおこれにより本紙の連載は『浅草の鬼』『浪人街道』とならび堂々三本立となり、他紙の追従を許さぬ布陣となります。ご期待下さい。

作者のことば

新春早々皆さまおなじみのアンコールにより、いずれに致しましても、皆さまおなじみの、あの八百定夫婦は、再び飛び出しまして、大いに活躍することになりました。続篇をもって登場いたします。御高評を添うしたいと存じます。時代は五代将軍の次ぎですから、家宣将軍のころと御承知下さい。

さて、お立ち会い、相変らずあの時代として、最高の…を、心身ともに…ッぱだかにしたストリップショウを狙いたいと思います。

といってみたところでこれが首尾よくご喝采を得るかどうか——。希くは相変らぬ御声援を！

寺本忠雄氏　岩崎栄氏

酒の神さま
粋人酔筆

『おミキあがらぬ神はない』といって、上戸はすぐ神さまを味方にしたがるが、洋の東西を問わず、酒の起原はほとんど神話から発し、しかも女神が主体であるらしい。ギリシャではバッカスの神がブドウ酒の始祖だといい、エジプトではオシリスの神が穀類の酒を教えたという。しかもこの両神は同一神格ともいうから、男女の別は知らないが、いずれにしても最初にできた酒は、その地方のその時代に最も得やすい材料から発したはずで、狩猟時代には果実が得やすく、果汁はそのまま放って置いても自然にハッコウして酒になるから、最も原始的なのは果実酒であったにちがいなく、猿酒（さるざけ）の伝説などがこれを裏書している。

ついで遊牧時代になると、最も手元なのは畜乳だから、それをしぼりためて乳酒ができた。これは畜類であっても母体からでなくては出来ない。中国でも太古には乳酒があって黄帝が飲酒したとの記述があり、更に農耕時代に入ってはじめて穀酒ができたはずだが、まだ麹などの発明されなかった時代には、まず穀類をかみくだいて口中のツバキで糖化し吐出してたくわえたのを自然にハッコウさせたので、この発明者は禹（う）王の娘儀狄（ぎてき）ということになっている。

日本では大和三輪の祭神大物主命（おゝものぬしのみこと）山城の梅津にある梅宮神社の祭神酒解命（さかとけのみこと）京都嵐山の北にある松尾神社の祭神大山咋命（おゝやまぐいのみこと）を三酒神とし、もっと古くは少彦名命（すくなひこなのみこと）を『くし（酒の古語）の神』と称して、いずれも男神のようで あるが、もともと穀類は『古事記』の大宣都比売（おゝげつひめ）神にしろ『日本書紀』の保食（うけもち）神にしろ、ともに女神の神体から発生したことになっているのだから、女性との縁を切りはなすことはできない。

大麦を原料とするビールは、古代エジプトから始まって、ギリシャ、ローマに伝わりだんだん欧州中部地方に及んで、近世はドイツが本場ということになっているが、イギリスではその以前から造っていたという。ホップを加えない前の麦酒はエールで、家庭の主婦や僧侶によって造られ、イギリスでは十七世紀までエール・ワイフ（麦酒女房）の称があり、酒造技術者の大半は女であったという。

日本で酒を『かもす』の語源が、前述した穀類をかみ砕く『かむ』の転化であることは明かで、この風は南方から伝わったらしく、現在でも台湾の蕃人中には嚙んで酒を造る法が行われ、また琉球の村落にも祭りの酒に限っては、ふかした穀類を嚙んで一定の容器にたくわえ、自然ハッコウによる酒を神に供える遺風を存し、それらの操作はすべて処女の役目だったという。

ところで日本の醸造家は、ごく最近まで酒倉を神聖なるものとし、入口にはシメナワを張って一切のけがれを忌み、特に婦女の立入りを禁じたというと、いかにも本末を顚倒したようで、いまの女権論者にはもっての外と怒られそうだが、実は醸造事業が発達して重労働になったのと、男子の倉人（従業員）は昔の僧侶や婦人にくらべて、とかくその方の抑制力に負けるのがならいだから、微妙なハッコウ菌に対する油断を防ぐため、もっぱら緊張、精進せしめたと解すれば、決して女権侵害どころではなかったはずだともいえる。

醸造技術の進歩した今日、そんな迷信じみたことはもう行われなくなったかも知れないが、戦前までは確かに酒倉の神聖が保たれ、わたくしの関知する限りでも、灘の名杜氏といわれた菊正宗の阿部技師長などは、もちろん明治時代の大学を出た近代技術者の先輩であったが、子福者といわれるほど多くもうけた子女のうち、冬季約三ヵ月余の仕込期間中に仕込まれたのは一人もなかったとて、物故後すでに年を経たいまも、六郷の醸造界から尊敬されている。

市山蔣平

公務員制度調査委決る

十一日の定例閣議は午前十時首相官邸で一万田蔵相以下各閣僚（鳩山首相、重光、大村、三好、花村千葉、竹山、鶴見各相欠席）出席して開かれ、河野農相から食糧管理制度改正について報告、同制度検討のため経済閣僚と党政調会の間で懇談会を開くことになった、ついで欠員中の公務員制度調査会長、同委員を別項のとおり決定、前日の次官会議で内定した諸案件と政令四件を正式決定、時廿分散会した

委員長＝三好国務相 万田蔵相、千葉労相、三好国務相（…）

小川氏届出
栃木知事選

知事選挙に左右両社の候補として推薦された小川喜一（五〇）＝無所属＝は…立候補届出を行った

市況
全般的に堅調

日銀政策委の株價高騰にたいする警告のウワサを傳えたが、好調一歩の相場は格別反響をみせず、一部品薄株に利食い売りを誘った程度で、全般の市況はなお根強い買い気に支えられて堅調をたどっている、特定株はさすがに戻り売りに軒並み五圓内外安と寄り付いたが、あと山一が日清紡はじめ主力株に万單位の買物を入れたのをキツカケに堅調を取戻し、日清紡十圓高は…

内外抄

浅草の鬼（65）
濱本浩
栗林正幸 画

花形アナ近況録

来宮良子　宮田輝　青木一男　矢野林三

テレビが出来てからアナウンサーの顔も映画スターみたいにブロマイドが出るほどの人気者になったが、ラジオやテレビにかくれた花形アナウンサーの最近の話題をNHKから拾ってみた

退職金で慰謝料？

女性に取巻かれるハンサム

数年の"別居"に終止符

矢野林三

◉…NHKの[illegible]

[illegible] しかし、辞表提出の翌日もう彼の姿はニッポン放送[illegible]いそうで、古い連中は、いまの若い者は貞操観念がないかん』と六ムクレ

笑いはスタジオで売り切れ

うちづら悪い

青木一男

◉…とんち教室の青木先生の評判はメチャクチャに悪くいう者とベタホメの二つで、中間派がない、他人に対する当りはやわらかく、明朗なのだが、どうしたものか、時折り冷たいところがあるからだろう、ある人は『ニコニコしているのはつき合いのためですよ、というようなところが態度、言葉には直接出ないが、感じられる』と評しているが、ウチヅラはあまりよくないようだ、美人の奥さんと双子を入れての四人暮しだが『ウチヅラが悪いそうですね』という雑誌屋の質問に『笑いはスタジオで売り切れですよ』

あすの運勢

高島象山

＝一月十二日＝

▲一月生－稼業繁昌し思いはけい目的は達するが交渉事は控え目がよし▲二月生－何事も目に見え手[illegible]

"後釜は彼女かナ"

よく持上る結婚の噂

矢野アナと大の仲良し

来宮良子

◉…[illegible]

[illegible]HKの文芸部に勤めている久米正雄氏の愛息と一時は結婚するとかしないとか取沙汰されていた美人だが、この取組みは久米さんの失恋（？）で終止符を打ってしまったとか…、出演者と局員のほれたはれたなんてことは、表面化しないだけで、NHKは勿論、大抵の民間放送でもよく見うけられることである

映画会社から渡米のお歳暮

お正月はアチラ

今福祝

◉…ディズニーの"砂漠は生きている"という長篇記録映画の日本語版の吹き込みで大映からNHKに『どなたかベテランアナウンサーを貸していただきたい』と申入れがあった、アメリカへの往復は飛行機で、滞在期間は一ヵ月、勿論経費は映画会社持ち、こんなうまい話はないと『俺がいき[illegible]

喜色満面のお正月

輝光会から二万圓のお年玉

宮田輝

◉…利口者なのでなかなか尻ッ尾を出さないのは、三つの歌の司会で自他共に許す花形アナウンサー宮田輝、この輝さんを後援するファンの会がある、名を『輝光会』といい、関西のファン廿数人からなっている、その輝光会で、新年のお年玉に宮田アナウンサーに何か贈りものをしようというので、グループが集って二万円ばかりの金を集め『お年玉を贈りたいが、何かほしいものはないか』といった文面の問い合せを出した、勿論輝さんは『そんなことしてもらっては困る』と辞退したがどうしても贈らせてくれという、輝さんそこで考えた、『俺の初夢は写真の引伸機だった、カメラも買った、暗箱もある、腕も上った、しかし、引伸機がない、今年こそ買おう、しかし高すぎる、百科辞典もほしいがこれも全部揃ったんじゃとても給料では買えたものではない、いや、面倒だ、そんなもの買うために貯金するより飲んじまえ！』と、ベロンベロンによっぱらったところでその初夢がさめたのである、放送劇団にいる奥さんの河口恵美さんと相談して、結局百科辞典を贈ってもらうことにきめたそうだが、『今年はハナから縁起がいい』と輝さん正月からニコく顔である

初場所文壇遊び取組 ②

『女心キャッチの巧さ』

新橋進出の高見順＝90点

流転以来の井上靖＝80点

井上靖　高見順

○…如何なる星の下に高見順センセイは生れてきたのだろうか、芥川賞を貰ってもカスンでいる作家の少くない現在、かつるのである『女を描けなきゃ一人前じゃない』といったのもこのセンセイである、げんに女の描ける数少い作家の一人だ江戸前でスッキリしていて、女によくモテ、またすぐ女が好きにな

って惜しくも受賞を逸した彼が、今日堂々と第一線に筆陣を張っている好人物でもある、学生時代、上野のトンカツ屋の娘に惚れ、文学青年時代、浅草の踊り子たちと馴染み、愛人はゴロちゃん（オペラ歌手の土屋伍長節をジャンジャン書きまくっているので、余りの健筆ぶりに驚いていると、さる消息通が教えてくれた『いや、この頃、彼氏には新橋の美妓が恋人になっている、仕事は絶対手で、これまた旺盛なエネルギーと女性ファンに必ずウケる筆法でシャカリキに書きまくり正確と定評あり、その彼が新宿の飲み屋あたりで、『まだ書き始めて四年目で』とくるのだ

○…一方、井上靖センセイは一『ここに奪われ…等々戦前は華やかな噂を撒いた美青年だったが、先頃は一年あまり病気で寝た、ところが静養が効いて、すっかり肥ってしまい、この頃はって、ね、場所が場所だから、モから、そんじょそこいらの作家は顔色無しである、井上靖ほど女心のヒミツを上手に書ける作家は少い、女の泣きどころを掴んでいるに違いない、問題はそれをどこで修業したかだが、それを解くカギは執筆多忙でトンと外遊びの噂を聞かない現在の彼よりも、廿年の昔、愛欲の『流転』で毎日千葉賞を獲た学生時代や、大阪毎日記者時代のデンコ（不良少女）との付合いなどに遡らねばなるまい（戸）

米人の日本ムスメ観

低能"ハイハイ主義"

風呂好きだけが褒めどころ

外人と手を組んで歩くのが、ひとところの日本女性一もっとも一部のだが一の自慢だったが、それでは外人は日本の女性をどうみているのだろうか？　アメリカの雑誌の投稿から"アメリカ人のニッポン・ムスメ観"を拾ってみた

日本娘は家庭的といわれるが、かの女たちは、アメリカ人と一緒に暮しているときも、良きワイフぶりを発揮したらしい、しかし、その発揮ぶりは、どうやらピントが狂っていたようだ、というのはハンターという人の投書によると、『日本の娘は買物のとき、お金を渡すと実際は千円かかったのに八百円しかかからなかったというのである、なぜかというと、かの女たちは自分が世帯持ちが上手だということをみせようとしているからだ』だから、日本娘を賢いという投書はすくなく、ひどいのになると低能視している投書もある、シンクレアという人の投書もその一つである

『東京娘は"ハイハイ主義"（イエス・シング）である、寝室の枕や寝巻も美しくてよいが、女だけはなんとなく低能のような感じを受けるのだ、そしてかの女たちは一あたしは何もわからないのよ、だから、あなたのおっしゃることにハイハイというだけなの一といいながら枕を並べる』

ハイハイいいながら肉体を自由にさせるだけでなく思想的にも大したことがないという投書も多い、シンクレアなる人物の投書はどうやら商売女、あるいはオンリーたちをさしたものらしいが、ヨークという人の投書は素人娘のことをいっているらしく、とくに外人と交際してから教会へ出入りするようになった娘さんへの痛烈な批判も含んでいる、その投書は

『日本の女はすぐ外人の男性にまいってしまう、そしてそのいいなりになる、日本の風俗も習慣も、さらには宗教さえもあっさり捨ててすぐ男に同化してしまう』

その男に夢中になり思想までもアメリカかぶれしてしまうものはど、かえってアメリカ人に馬鹿にされているのは興味深い

こう悪口ばかりが投書されているわけでなく、褒めたのもないわけではない、ただし『日本の女は清潔好きで、世界のどの女よりもよく風呂に入る』といったバーンズの投書みたいなのが多かったというだけである

54年の人氣女性

トップを行く中村メイコさん

予断許さぬ終盤の追込み

本社主催『五四年の人気女性は誰？』の第六回中間発表が行われた、中村メイコさんが依然トップを続け貫録を示すと共に若尾文子、香川京子さんら子、有馬稲子さんらが跳躍台にある、貝谷八百子さんら六千票、五千票台の飛躍が期待されている、締切は廿日である、最後の追込にあなたの一票を一

① 一五〇〇六　中村メイコ

② 一二一七二　美空ひばり

第六回中間発表

順位	票数	氏名
③	一二九九一	高峰秀子
④	一一八三五	若尾文子
⑤	一一〇二一	岸惠子
⑥	九〇二二	有馬稲子
⑦	八六〇四	香川京子
⑧	八三三七	江川チエミ
⑨	七七六〇	吾妻徳穂
⑩	六九七二	雪村いづみ
⑪	六三五三	伊東絹子
⑫	六三二五	貝谷八百子
⑬	六二五七	野添ひとみ
⑭	六〇〇七	京マチ子
⑮	五九七三	藤沢嵐子
⑯	五七〇六	丹下キヨ子
⑰	五五八八	神楽坂はん子
⑱	五五〇三	高千穂ひづる
⑲	五四五四	津島惠子
⑳	五三三九	星美智子
㉑	五二二一	新珠三千代
㉒	五二一五	宮古かすみ
㉓	五一八八	奈良あけみ
㉔	五〇三三	八千草薫
㉕	四八三九	久我美子
㉖	四七二四	淡路惠子
㉗	四六六〇	加茂幸子
㉘	四四九二	越路吹雪
㉙	四四四七	ペギー葉山
㉚	四四〇七	水谷八重子
㉛	四三五三	田中敬子
㉜	四三三二	西崎緑
㉝	四三〇七	木暮実千代
㉞	四二五一	新橋まり千代
㉟	四二五〇	北原三枝
㊱	四二四七	岡里道子
㊲	三九〇六	荒井惠子
㊳	三七〇三	麻生和子
㊴	三六六六	沢村貞子
㊵	三六六五	水の江滝子

（以下略）

54年の人氣女性

指名投票用紙

投票者住所氏名　人氣女性名

一職業一

送先・中央區銀座二ノ五内外タイムス社指名投票係・〆切一月廿日

内外タイムス社

風流世界譚

……（日本）……

近頃また御婦人の間に和服が流行ってきました。この間も私の前を妙齢の美女が豊かな肉体を絹物の和服に包み、キツネの衿巻きをして、シャンとすまして歩いていましたが、ふだんは洋装でいる為か活発な大股で駅の階段でも上っていく拍子にお腰の紐が取れてしまったらしく華やかに縫取られた裾の下からチラチラとそのヒモが覗けるではありませんか。さァ同じ電車に向き合って腰をかけていると何となくそれが気になって、本を読もうと思ってもつい視線が□の下のヒモに注がれていくのをどうしようもありません。勿論、彼女は気がついていないのです。さて、次の駅で降りなければならなくなった時、私は思い切って、その美女に注意してやりました。『失礼ですが…ヒモをお気をつけになりませんと…』私はあくまでも紳士的に申したのですが、その途端に私は彼女の隣りに座っていた若いイナセな男のために、いきなりアッパー・カットを食わされて倒れてしまいました『この野郎、フザけたことをいやがるな。ヒモとは何だ、ヒモとは！』

紅燈手帖

◇続熱海◇

こゝは格別の正月景気

万事OK旅館通いの藝妓

東京は寒に入ってめっきりの寒さでも、熱海は、もう梅園の梅も六分咲きの陽気。この十五六の両日は『梅まつり』と銘打って、遠近の客を招こうという趣好。

温泉地であるから、待合は少く、すべての芸者は旅館に入り又万事O・Kである。しかし、いゝ妓は旅館でも一流な処へ行かないとやってこない。一流の処といえば、大野屋とか、つるやとか、六月館とか、水口園とか、玉の井とかであったが、今は大野屋とか、つるやは団体の客が多く、東京風に遊ぶには、別荘改装の旅館がよいようである。

別荘改装の一流旅館は、起雲閣、錦光園、西松、翠光園、うろこや別館荘、竹翠、清流荘、清泉荘松の寮など数えればきりもなく増えた。今、東京のよい客はこういう処を利用している。この中で松の寮は、女将が花街出身の故か、もっとも待合風な旅館で料理も美味、芸者もいゝ妓がよく入るが、勘定も一番高いと湧き出する湯舟に白しきみの胸

デフレの影響で、この正月は伊豆の温泉は大したことはなかったそうであるが、ここ熱海だけは、地の理を得た点もあって文字通り東京の奥座敷となり、この年の正月も、各旅館とも満員の盛況であった。

旅館が忙がしければ、熱海芸者も又多忙である。正月の晴衣に着飾った、日本髪（かつら）の芸妓さん達のあで姿は、氏神の来宮神社の初詣でから始まる。

数百名の熱海芸者の中で、美人の呼び名も高い売れっ妓は、吉弥、小光、小ひな、照太郎、夢子、小ざくら、などという若手である。ちなみに、この吉弥

夢子というのは、文壇随一の色好み作家舟橋聖一先生の御ひいきである。（蝶）

モダン歳人記

毒婦夜嵐お絹

明治四年一月十二日の夜、猿若町一丁目九番地に住む御家人上りの小梅村の寮で、小林金平は妾の原田きぬと長火鉢を間に盃を重ねていた。きぬは十六から囲われ、今や廿九歳の色盛り、その閨房のとりなしも金平の魂を天外に飛ばす概があった。前から気分が悪いと妾宅に寝込んでいた彼の珍しい酒機嫌に、きぬが医師の薬と偽って飲ませたのが鼠取りの毒薬だった。金平は忍ちその場に絶して果てた。彼を謀殺しようとしたのはこれで三度目で、一週間前には葛湯と偽りにまぜ、二度目は毒薬を煎〆飲ませたが駄目だった。

おきぬは二年程前から猿若町に住んで若手花形の嵐璃鶴にぞっこん惚れこみ金平の目をかすめていた。が璃鶴は彼女に金平がいるので気が進まない。おきぬは縁切後の皮を金平に飲ませてもみたが効がないので、一思いにと女心の浅はかに殺意を思い立ったのだった。

彼女はその年の七月に捕えられ翌年の二月小塚原刑場で斬首梟首されたが、相手が人気俳優だけに評判となり『夜嵐阿衣花廼仇夢』と題した小説も世上に流布した。（鮭）

哀恋邪恋 情死秘話 第十四話

殺人心中事件（三）

邑井玄吉

土端一美口

見るべからざるもの

喫茶店の一隅で千枝子からこれまでのいきさつをのこらず、聞いた信一は、眼の前が真ッ暗になる思いだった。千枝子を愛していないわけではないが、純子にくらべれば艶麗なバラと、雑草にまじって咲く野菊ほど魅力のちがいがあった。如何にも田舎のおかみさん臭くなった眼の前の千枝子を見ていると、義理にも愛だの恋だのと甘い言葉は口から出て来なかった。

それかといって、このまゝ素気なく追い返せば、家出して来ただけにひょっとしたら自殺するかもしれない。とつおいつ思案した彼は、

『あのアパートはタクシー会社の重役の息子さんと一緒に借りているので、もし僕に女出入りがあることがわかると、風紀問題のやかましい会社だから僕を馘にするかもわからないから、しばらくの間、何処かで働いてくれないか、そのうち別に部屋をみつけて、きっと君と一緒に暮すから…』

と、淋しげにうなだれている千枝子をなだめすかせて、女給募集の広告を頼りに住込ませたのが蒲田駅前の『ヒカリ』というカフェーで、銀座の一流カフェーでも簡単に勤められるのだが、万一アパートにやって来られてはという心配があったからわざと遠い土地を選んだわけだった。

こうして、はじめのうちは週に二度ぐらいは、車を利用し蒲田まで突ッ走り、怪しげな安宿で千枝子と逢う瀬を愉しんでいたが、一月、二月たつうちにだんだん足が遠のいて行ったのも当然の成りゆきだったろう。

然し、あくまで信一の愛情を信じていた千枝子は、パッタリ姿を見せなくなった信一が何かいまわしい交通事故でも起してかと心配し、朝早く築地の商業荘を訪ねてみた。管理人に訊くは、『他殺か自殺か、奇怪なガス心中事件』という大見出しの下に青葉荘十四号室の男女の謎の死を伝え、女が銀座の酒場女であるところから、かなり猟奇的な話題をまきちらした。

ところが、その翌日の夕刊の一隅に『女給風の飛込み自殺』という記事が掲載されてあったが、これはあまりにもありきたりの事件だっただけに含く黙殺されてしまったらしい。この飛込自殺の主こそ千枝子で、無我夢中で青葉荘を飛び出し、蒲田の店に帰ったが、翌朝配達された新聞で、はじめて己が犯した恐ろしい殺人の罪を知り、恐怖と贖罪（しょくざい）の念と、恋しい信一の後を追う気持から その夜六郷土手に近い鉄道線路に身を投じたのだ。カフェー『ヒカリ』の押入れの中にあった彼女のバスケットの中から、自分の黒髪と一緒にくるんだ信一の写真が発見され『この二つだけでもせめて一緒に埋めて下さい』と、走り書きの遺書が添えられてあった。昭和九年四月、満開の桜が、漸く散りはじめた頃である。（この項終り）

と二階の十四号室だというので飛び立つ思いで階段を上って行き十四号室の前に行くと、夜中に便所にでも行って閉め忘れたのか、扉が細目に開いていた。そこで不意に声をかけて驚かしてやろうと、そっと忍び込んだ千枝子だったが、窓際のベッドを一眼見るなり、あッとその場に釘づけにされてしまった。それもその筈、夢にも忘れない恋人の信一が、寝乱れ姿も淫らしく絡むと悩ましい厚化粧の断髪女と、嫌々抱き合ったまゝ寝ていたではないか。はじめて知った恋人の正体一突風のように襲った嫉妬と憤怒と絶望の嵐に、今は完全に理性を失った千枝子の手が、無意識のうちに片隅のガス栓にのび、料金投げ入れ口に十銭白銅を落しこんでいた。一その翌朝の都下の各新聞

現金二千五百万円を強奪

千葉銀行員を襲った二人組捕わる 運搬途中

白昼東京のド真中で銀行の現金を輸送途中強奪された、賊は間もなく逮捕されたが、これは精密に仕組まれた恐るべき知能犯罪であった―十一日午前九時半ごろ千代田区神田花岡町一秋葉原デパート内千葉銀行秋葉原支店（支店長石井金吾氏）から現金二千五百万円を中央区日本橋室町三の二同行東京支店（支店長能重嘉一氏）に送るため、同店出納係河合俊浩(二七)同小柴昭夫(二三)の両氏が同行前で中型トヨペット・タクシーを拾って日本橋に向う途中、運転手の仲間が須田町からいきなり乗込み、ジャックナイフをつきつけて急に方向を変えてスピードを落したので河合さんが飛降り、立番中の若松巡査(四〇)に『強盗です』と急報、同巡査は折から通りかゝった小型トラックに乗って映画もどきに急追、犯人の車があわててハンドルを誤り墨田区向島請地三の一一三先休止交番に衝突したところを同十時逮捕した、二人組ギャングは豊島区池袋六の一九三七前鶴荘アパート内五号室止宿無職小林芳太郎(二七)同井川一夫(二五)と判明

精密な計画犯行 犯人は運転手と相棒

ジャックナイフで脅し麻酔ガーゼ

犯人の自供によると井川と小林の両名は昨年春に失職、生活に困って強盗を思いたち、小林が千葉銀行秋葉原支店の事情にくわしく、毎朝九時半ごろ現金を運搬するのを知っていたので、数日前から張込んで調査をつゞけた上、友人の台東区芝崎二の四豊国交通（社長江森茂一氏）運転手鯨井秀俊さん(二五)の薄緑色中型トヨペットを千円で借りうけ、運転に心得のある井川が運転して十一日早朝から同支店の真ん前に停車させて現金輸送の行員を待ちうけた

何も知らぬ河合さんと小柴さんが乗込むと『エントツでいきましょう』ともちかけて走り出した、車が須田町交叉点交番前に差しかかった時かねて打合せてあった小林が私服刑事をよそおい『エントツはけしからん、本署まで来い』と乗込んだ

車が走り出すといきなりジャックナイフをつきつけ『眼をつぶれ』とおどかして車の向きをかえ、上野、浅草を経て錦糸町公園前にさしかゝると、用意の麻酔ガーゼを二人の鼻先に押しつけた

河合さんは抵抗しながら寺島一丁目先の向島署広小路交番前でスピードを落した時ドアをあけて飛出し、立番中の若松巡査に急報、追跡を開始して午前十時ごろ前記休止派出所前で衝突、車を出て逃げ出す二人を秋葉神社前路上で逮捕したもの、なお、ボストンバッグと風呂敷包みにつつまれてあった現金二千四百十万円は無事だった

写真は危うく難を免がれた二千五百万円札束の山(上)逃走途中電柱に衝突した中型トヨペット(下)

写真は犯人(右)小林芳太郎(左)井川一男＝向島署にて

神田 サロン松 NOチップ社交場

銀座で五軒に放火

犯人逮捕 リレー式、昨夜七、八丁目の恐怖

十日夜銀座の真ン中に相次いで五件の放火事件が発生、付近の住民を震えかした、十日夜八時半ごろ中央区銀座西七の六銀寿司こと竹山田鶴子さん方裏口に新聞紙をまるめ火をつけたものを放りこまれているのを家人が発見、大事にいたらず消し止めた、間もなく付近の同町七の二芸妓置屋加藤年子さん(四八)方裏口にも同様な新聞紙が投げ込まれ、届出により築地署で悪質なイタズラとみて調べていたところ同九時半ごろ同町八の九丸井上薬局井上タマさん(五〇)方、同十時ごろ同町八の四大和田うなぎ店大和田延世さん(五八)方、同十一時ごろ同町七の一大塚薬局大塚晴源さん(四九)方と相次いで同じ事件が連発、間もなく付近をうろついていた学生風の男を築地署員が職質したところマッチ箱を持っていたので同署に連行追及したところ前記犯行を自供した

この男は住所不定無職松村幸雄(三五)といい、母はなく父は元印刷工員で十七歳の時家出、銀座新橋を徘徊、さきに[illegible]富坂の各署に窃盗容疑で捕り少年院二回、刑務所四回服役した、廿七年ヒロポン中毒となり廿九年十月京都刑務所を出所、十二月上京上野で洋服、本屋の窓ガラスをこわし『銀座の連中は綺麗な着物をきてドンチャン騒ぎをしているので癪にさわり、死刑を覚悟でやった』と自供している

警視庁予備隊観閲式 恒例の警視庁予備隊観閲式は十一日午前十時から明治神宮外苑で行われ、江口総監が警視庁の精鋭予備隊二千五百名を査閲したのち、ご自慢の装甲車、放水車など百台をくり出し外苑の朝霜をふみしめてデモった

ドラム罐が爆発 渋谷で三名大火傷

十一日午前九時十五分ごろ渋谷区並木町七松本タール株式会社（責任者川島範夫氏）の作業場で炉の近くにあったクレオソート入りのドラム罐二本が突然爆発し同作業場天井裏をこがしたが、付近にいた同社作業員世田谷区太子堂二の六三河合康王さん(四三)同区池尻町二二四朝野次郎さん(三〇)横浜市鶴見区北寺尾八九八三橋隆さん(二七)の三人は何れも顔、腕、背中などに全治一ヵ月の火傷を負った、原因は炉の火がドラム罐に飛び込んだもの

店員妻子三名死傷

町屋で11棟 放火の疑い また家具屋の火事

十一日午前三時廿分ごろ荒川区町屋一の八五六古股家具木工場から出火、家屋が密集しているためと水利が悪いところから火のまわりが早く同家はじめ木造十一棟、十四世帯約百五十坪を全半焼して同四時半ごろ鎮火した、この火災で同木工場店員工藤常蔵さん(三七)の内妻松田八重子さん(三〇)は逃げ遅れ焼死、八重子さんを助けようとして常蔵さんと長男常明ちゃん(五)とは顔、手足などに全治二週間の火傷を負った、荒川署、荒川消防署で原因を調べているが失火場所がはっきりせず放火の疑いもある

日本刀で脅す 三人組、騒がれて逃走

十一日午前零時廿分ごろ中央区八丁堀二の四井上洋品店井上ちよさん(四三)方に何れも廿二、三歳五尺二、三寸、黒オーバー、日本刀を持った三人組の賊が侵入『金を出せ』と脅かしたが家人に騒がれたため何も盗らず逃走したと京橋署に届出た

夜道で六千円奪わる 区教委副委員長ご難

十日夜八時ごろ豊島区雑司ヶ谷六の一一五八先路上で同町六の一一四四豊島教育委員会副委員長武部りつさん(五三)はうしろからつけてきた五尺一、二寸廿二、三歳、黒オーバー、中折帽子の男にいきなり黒ビニール製手提カバン（現金六千円在中）身分証明書などを強奪されたと目白署に届出た

姑をナタで殴る

不仲の嫁、鉄道自殺

【浦和発】十日午後十時廿分ごろ埼玉県南埼玉郡越ヶ谷町花田四四九〇農山本隆妻さく(二五)は、自宅八畳の間に寝ていた夫の母かよさん(五三)の頭をナタで殴りつけ重傷を負わせた、さくはそのまま家を飛び出し近くの東武線六沢駅構内で伊勢崎発登り浅草行き六〇一号電車に飛び込み重傷を負い近くの病院に収容されたが間もなく死亡した、さくはかよさんと仲が悪く日ごろ口論が絶えなかった

美人揃いの 神田パリス

都宝クジ当選番号

第六十七回都宝くじの抽選会は十一日午前十時半勧銀本店で行われた、当選番号次の通り

△一等（二百万円）三組一〇八九三八△二等（百万円）六組一九八六六五△三等（五十万円）三組一七一三三七、二組一八九三八二△残念賞（五千円）一等から三等までの組違い同番号△四等（十万円）二、三、四、六組一四六二九〇△五等（九万円）[illegible]

初場所四日目取組

（西）（東）

常錦―千田錦、小野錦―松緑、太刀風―小坂川、二所錦―時錦、牛鹿川―起築山、楯ノ花―船井山、甲斐山―神錦、鯉ノ勢―森ノ里、星甲―秀錦、那智山―前ケ潮、大士嶺―白雌山、玉風―二瀬山、前ノ山―鱗甲、神生山―栃光、劔晃―東海、大田山―八染、大龍―芳野嶺、秀ノ花―愛知山、櫻國―若羽黒、増巳山―預後山、鬼頭川―備州山、若ノ海―緋縅

―十両入り―

平ノ戸―七ツ海

出羽花―二瀬山、大晃―清恵波、大瀬川―秀湊、福ノ里―常ノ山、白龍山―泉洋、吉井山―若前田、島錦―鳴門海、鶴ケ嶺―神錦、大起男―安念山、時津山―出羽湊、國登―鳴瀬川、琴錦―清水川、大大龍―若葉山、大昇―成山、琴ケ濱―朝潮、宮錦―双ツ龍、松登―潮錦、大内山―玉ノ海、大起―三根山、吉葉山―信夫山、栃錦―若瀬川、北ノ洋―千代山、出羽錦―鏡里

スイートガール試験

この白線に達しないとまず落第 採用・五百人に一人

森永製菓のスイートガール試験が十一日午前十時から港区芝田町一丁目の同社で行われた、募集人員五名というのに応募者は千五百九十名に達するという狭き門、条件は本年高校卒業見込をふくむ廿歳以下の娘さんというのだが…五階会議室の試験場には御覧の通り(写真)数本のロープが五尺二寸の高さに張られ、その線に達しない女性は八頭身？的でないとあって、容姿端麗でも片っ端からオミット、『あら…私ハイヒールはいてくればよかったワー』と嘆くものや『五尺二寸なんてヒドイワー』と恨むものなど様々、かくて第二次試験で千四百名は落されて百名を残したが、更に三次四次と難しい試験が行われ五名が残るというワケ

独眼灯

品川区五反田…（以下判読困難）

エムさん

バックミラー

終戦からことしは十年目、十年ひと昔という言葉があるが、この十年の激動期はあまりにもわれわれの人生に大きな影響を与えた、いろいろの面から《この十年》のあれやこれやをふり返ってみよう―

❶ストリップの巻

"古バタ"でマスク

一枚二百円で買いに来る50爺さん 華かなりし全盛時代

専門的な回顧は昨年暮本紙四面に正邦乙彦氏がくわしく述べているので、これはエピソードをシンにした印象的なハナシとする

森福二郎氏

○…ストリップ・ショウ、つまり"脱ぐショウ"の発生の地が新宿帝都座五階小劇場で廿二年『額縁ショウ』がそのはじめ、ハダカ第一号が甲斐美春ーなんてことは先刻ご存知のはず、浅草ではその翌年ロック座がハダカ劇場をはじめ、廿四年には専門劇場の浅草座が生れた

当時の入場料四十円也、ストリッパーも少く、浅草座ではたった四人『女の行水』なんてもので入れ替りやっていた、それでも戦前は"禁断"のハダカが見られるとあって連日超満員、毎日のように客席のベンチが押しつぶされ、修理費がかさむのに参った、いっそのエコンクリートの椅子にしたらーの珍案まで飛出したが、尻が冷えたんじゃァ…てなことでとりやめ

○…やらせる方も、やる方も、見る方もはじめてのころだけに変り種の女もいた、トミー・橘というストリッパー、『あたし女子医専出なの、お金貯めて女医になるのよ』とエライ希望を抱いて入座してきた、化粧前(鏡)の脇にズラリ医学書を並べ、時折り『モシモシ東大医学部ですか、〇〇先生いらっしゃいます？』なんて電話をかける、てえした女がやってきたと楽屋でも大評判、ところが間もなく化けの皮がはがれ、彼女は満州帰りの看護婦上りで金に困ってハダカになったことがバレた、さすがいたたまれずに彼女はやがて関西へ逃げたが…

○…亭主に別れた子持ち女が入ってきた エミー・六和の名で舞台に出た、下で母親のハダカ踊りを見ていた三つの女の子が『オカァチャン』とヨチヨチ舞台に上ってきたトタン滑り落ちた、エミーは思わず『あらッ』と駈け下りたので舞台はメチャメチャ

○…養老院の慰問があった、役人が『ハダカは老人の眼に毒だから…』というので脱がせかえても途中でわからなくなっちゃったら、みんな『一生の思い出にストリップというものを見せてくれ』と手を合せて頼むかっこう、エミー君、吉原にアルバイトに出たのがバレてクビになった、そのころ彼女が同僚にしゃべった末、それならーと、私たち警官は知らぬフリしてトイレにかくれ、踊り子たちに五分間と限って裸になって貰った、老人たち大喜び、"廓は芸者"たことがふるっている

○…廿六、七年は全盛期、ファンにも変り種が出てきた、舞台で一度使ったバタフライを二百円で売り出したことがあるが、毎日買いにくる五十年配の一人だが、振付けのS君が『ギャかと噂していたら、ひょっこりおじいさんがいた、何にするのミ、ストリッパーというものは楽屋に訪ねて来た、そのじいさんのマスクがバタフライ、モノバタフライでかくしてる部分のことを精密に当局に報告しなければならない、自分で調べてくれよ』十九歳の彼女は本気にした、翌日S君に『センセ、サイズのほうはわかりましたが、あのー、本数のほうはいくら数えても』が出来て、ここで初めて『お風呂場ショウ』や『サーカスショウ』をはじめ露骨な舞台で人気を盛り返した、ところが廿九年『鏡子ちゃん事件』あたりから警視庁の取締りがキツくなり、公園劇場、ロック座がお叱りを受けてすっかり活気を失ってしまった

○…さていまは既成のストリッパーはとしをとりすぎている、新人の養成というときだが、なり手がないというのが実情、美しい姿体が絶対条件というだけに新人発掘はむずかしい、たまたまいい娘をみつけても『ハダカになるんなら』と数十万円のギャラを要求される、これではことしはストリップは亡びず、ただストリッパーがいないのみと叫び続けることになりかねない

（浅草座支配人森福二郎氏談）

畢竟"藝術以前"のもの

北里俊夫氏

○…終戦後浅草ロック座で空気座一座に座による『肉体の門』の上演後本格的にストリップをとり入れようとした私の意見が、新演劇の本筋を進もうとする若手一座の"民主的運営"と称する壁に当ってつぶれ、そのる』ということだ、ストリップ後新宿セントラル劇場で矢田茂一氏などとヌードをズラリならべた"女体オリンピヤ"を上演したのが私のストリップ十年の第一歩だった、その後池袋アバンの舞台生命も消えてしまうと思に移って私は私なりに独特のストリップ街道を歩んできた、この十年の経験からいえることはわに裸となり舞台に立つという『ストリップは芸術以前である』ということだ、ストリッパーにとって芸は不必要で、弾力ある肉体さえあれば"見世物"として観客を引っぱることは十分であり、弾力がなくなればそ

○…女にとってオッパイあることは一大決心が必要であり、そのためストリップに十年の歴史こそ生れたが、ストリッパーは金のためにやむなく裸になる人がほとんどだ、結局ストリッパーの生命は短かいものだから私はストリッパーに『裸だけでも給料はあげる、しかし衣裳を着ても給料を貰えるように努力しなさい』と口ぐせのようにいっている（池袋アバン劇場支配人北里俊夫氏談）

＝写真はお風呂場シーン＝

今晩のラジオ 11日(火)

時	【NHK第1】	【NHK第2】	【ラジオ東京】	【日本文化】	【ニッポン放送】
6	00 ❶子供のシンブン❷ちえのポスト 柳内達雄他 25 物語『オテナの塔』	00 医学の時間 加藤義夫 30 科学家庭座談会『化学繊維をめぐつて』	10 劇『こんちは横丁』 25 ドレミファア・ゲーム 55 スポーツ・タイム	00 劇『宇宙戦争』 10 劇『すずらん太郎』 25 神月春光と楽団	00 劇『ポツポおやん』 20 時代劇『銀蛇の館』 35 歌謡百貨店
7	00 ニュース・天気予報 15 録音ニュース 30 話の泉 堀内敬三 渡辺紳一郎 大田黒元雄他	00 名曲鑑賞 オーボエ協奏曲 チエローザ作曲他 30 明日の農民 座談会『農村青年と迷信』	10 録音ニュース 20 歌うオルガン 松沢宏 30 落語❶喧嘩長屋 小金治❷帝国浴場 小さん	00 録音ニュース 10 宝塚世界のメロディ 30 歌謡曲 高田浩吉 久保幸江 神楽坂玉枝ほか	00 ラジオ夕刊 20 今日もまた 須藤健他 30 服部良一アワー 歌久保幸江 湖畔の宿ほか
8	00 とかくこの世は『春待亭』榎本健一 星和子他 30 民謡をたずねて『北国の民謡』鈴木鶴声 勝丸	05 教養特集 楽への幻想（対談と録音）千葉大教授 宮木高明 科研所員 鵜上三郎	00 渡辺弘とスターダスターズ 歌荒牧規子ほか 30 歌の風車 東海林太郎 [illegible] 市丸ほか	00 家庭音楽会 司会浅倉アナ 三呼?豊吉ほか 30 連続講談『徳川家康』 宝井馬琴	00 クイズ・ヴァラエティ『また逢いましょう』 有島 30 劇『愛の歴史』清水将夫 阿部寿美子ほか
9	05 ニュース解説平沢和重 15 劇『源義経』黄金の都の巻 岩井半四郎ほか 40 時の動き	00 音楽のおくりもの ペール・ギユント 渡辺高之助 網島初子 伊藤京子 浅沼香子 里見京子	10 浪曲天狗道場 前田勝之助 相模太郎ほか 40 ニュースを追つて 北アルプスの山小屋にて	00 歌うバースデー・プレゼント 高英男ほか 30 落語❶テレスコ 金馬❷子ほめ 助六	00 浪花節『二世の母』後篤 伊丹秀子 30 五九童のワンダフルばあちゃん 五九童 蝶子
10	15 虹のしらべ 40 芸術よもやま話 里見弴 杉村春子	00 ❶初級国語 坂本浩❷上級解析 池原止戈夫 45 気象通報	05 きようのニュースから 15 劇『新撰組』木村功他 30 提琴協奏曲第五番	00 和文英訳 JBハリス 30 解析2 魚返正	00 劇『裸一貫』滝沢修他 15 民謡吉晰 武藤英司 35 劇『緋牡丹記』
11	10 海外の話題 20 ❶明日の話題❷随筆	00 商業羅針盤『広告宣伝』野本伊太郎 岩山駿 15 新聞論調	10 わが愛する町 沼津・三島の巻 芹沢光治良 45 ポピュラー音楽	00 マレク・ウエーバー楽 15 モーツアルトの小夜曲	15 夢のいざない 40 わが金融業 宮内鎮弥 50 夜の軽音楽

テレビ

NHKテレビ

6・00 漫画映画『新家主』
6・10 スポーツ・クイズ
6・40 源氏物語絵巻
7・15 海外週間ニュース
7・30 新春トランプ夜話 時雨乙羽 上月幸子ほか
8・00 劇『裏屋は考える』森塚敏 宮崎恭子ほか
8・30 歌舞原義江 ピアノ伴奏富原?子
9・00 ニュースの焦点

日本テレビ

6・00 劇『私のお母さん』
6・20 あわてるゲーム
6・50 カメラ探訪『社氏』
7・30 家庭ゲーム 司会矢野目源一ほか
7・45 鈴風劇『又四郎』

☆NHKテレビ☆

12・15 映画『今日の産業』

浪人街道（34）

木村荘十　野口昂明画

狼藉（四）

啓之助は、狂斎の機転と菓子の届いたのに救われて、ほっとしたものの、まだ心配が残っていた。金を届ける筈の吾作がまだ着いた模様はない。

と、堀田河内の言葉で、菓子に手を出した坂田が、一つ二つ、つまんだ挙句に首を傾げた。

『堀田氏…堀田氏』

『なんだ』

『これは、毒は入っておらんでしような』

坂田は、つい先頃、浅草馬道の生花の師匠が、恋敵に、菓子へ毒薬を入れて送ったという事件があったのを、啓之助にあてつけていっているのだ。

『まさか、浅香がわれ等に毒を盛って顔色を変えて戻って来た。

『手前の舌はまだ確かだ。この菓子は金沢丹後へ誂えた菓子だそうで御座るぞ』

『なに鈴木越後ではないのか。どうりで、拙者もおかしいと思った。何か舌に残るような気がしてな』

正客の堀田河内守は、怒気を現わして、自分の前にある菓子の残りを、銘々盆ごと庭へ放り捨てた。

『まァ殿様、もったいない』

『何がもったいない。こんな菓子は蔵前の札差しでも食うまい、いやしくも直参のわれわれが鈴木越後以外の菓子が食えるか』

『まったく…野暮も、ここまでくれば行きどまり、こんな菓子がもったいなくば、そこらの犬にでも食わしてやれ』

ることもないだろう』

堀田は笑ってそういったが、坂田は首を振った。

『いや、これは変だ。これは鈴木越後の菓子では御座るまい』

『なるほど、そういわれると少し違うぞ』

『いや少しどころか、まるで違っている』

『これ、浅香殿、われわれは、如何なる寄合でも、鈴木越後の外の菓子は食ったことはない、第一、他所の菓子では砂糖が悪くて食えはせんが…これは確かに鈴木の菓子だろうな』

『さァ、拙者はお迎えが急ぐので、とるものもとりあえず、家人に命じて邸を出ましたが、その辺はしかと判りかねます。多分、鈴木越後の品と存じますが』

『おい女ども、すぐに調べろ。持って来た容器を見れば、すぐ判ることだ』

坂田は、一大事でも起ったように座敷を飛出して行ったが、やがて

口々に、面をおかして罵るのを久保が如何にも同情するようにいった。

『浅香どの、折角亭主を勤めて何ということをしたのだ…これではまるでご一同を、わざと軽蔑するようなものではないか、早く堀田殿にお詫びをさっしゃい』

啓之助は、金沢丹後という店の菓子が、何故に同役達を軽蔑することになるのか、同僚達の怒りを承服出来なかった。

金沢丹後は古くから浅香家に出入する相当な菓子屋なのである。

恐らく吾作が、何時もの通り注文したものであろう。それが何だというのであるか。

啓之助は、馬鹿々々しかった。

（こんなことで武士が満座の中で詫びられるか）

むっとして何かいおうとした時

『ご免下さいませ、ご免なされませ』

と座敷へ入って来たものがある。

椅子を狙って ⑪

あたし達はゴキラ（五期ら）

どこへ行くのも三人一緒

ラジオ（三）

里見京子
横山道代
黒柳徹子

（シ）ッカリ者の“やん坊”暴れん坊の“にん坊”可愛いチビ助“どん坊”は仲良し三人姉妹の白猿だ、NHKの日曜午後五時半から巷に流れ出すこの番組『やん坊にん坊とん坊』は今や子供の世界では大人気の大流行になっている、だからこの時間になるとそれこそ子供たちはお風呂屋などへは出かけない、かの『君の名は』の時と同じにジッとラジオの前で聞き耳をたてているというわけなんだ『ニイタン、ボクおなかがヘッちゃッたよ』などという不思議な声とセリフが、とにかくも子供の夢と希望を十二分に満足させているらしい、それほどこの三人の功績は大きいし、つまりは声優としても大ホープと相成ったわけだ

人揃って昨年四月に放送劇団に入団した五期生、仕事がいつも一緒だけに普段も大変仲が良く、ぞろぞろお汁粉屋にもつながって行けば映画も一緒だ、そのくせ楽っているとあまりロクなことをやっていないらしい、やれあたしは焼鳥屋で十円のクシを十本食べたとか、お汁粉屋でゼンザイ三杯だったとかいやはやとんでもない食い意地の張ったところを見せ合っているお嬢さんたちだ、それでも彼女達は口を揃えてこういった『あたし達一生懸命勉強してるのよ、でも三人揃うとガヤガヤワヤワヤしちゃうのよ、だってねーエ、あたし達ゴキラ（五期ら）なんだもの』（藤）

【写真は右から里見京子（やん坊）黒柳徹子（とん坊）横山道代（にん坊）】

中国歌劇『白毛女』をバレエ化

松山樹子が初のこゝろみ

資料は興安丸で寄贈

さきに『白狐の湯』『華厳』と相次いで東洋に取材した創作バレエを発表して特異な存在を示している松山樹子バレエ団が、こんどは最近の中国が生んだ歌劇『白毛女』を採り上げてバレエ化することになり、またまた話題を投げている

☆…『白毛女（はくもうじょ）』は魯迅芸術学院文工集団の創作にかかるもので、わが国では米英社から歌劇台本の翻訳が楽譜つきで出ているが、これをもとにこんど松本亮、石田種生の両氏がバレエ台本に書き直し演出土方与志、作曲林光、装置吉田謙吉、照明穴沢喜美男という一流のスタッフの協力のもとに二月十二日、十八日の両夜日比谷公会堂で東京勤労者音楽協会後援で上演しようというもの

☆…歌劇『白毛女』のバレエ化は世界でもはじめてのことであり、これに関する資料（舞台写真、衣裳デザインなど）は既に昨年暮中国戯劇家協会から日中友好協会の和田事務局長に託されて引揚船興安丸で同バレエ団宛て贈られているので、青山の同バレエ団研究所では松山樹子以下スタッフ、出演者一同六ハリキリで準備と稽古に忙しい毎日を送っている

☆…これに関し、はじめてバレエの演出を担当したという土方与志氏は『これまでオリエンタル風なものを手掛けてこられた松山さんがこの作品の上演には一番適していると思う、演出の根本は、古典バレエの技術とかクラシックなスタイルを崩さずに、しかもなお新しい精神を生かしてやってみたいと思っている』と語っていた

写真は資料を前に打合せ中のスタッフ㊧から吉田謙吉、土方与志、松山樹子、土方梅子（衣裳）の諸氏

ポリドール騒動の真因

勢力争いのにおい

追い出し食ったビクター派

ポリドール・レコードが邦盤一切の製作、発売を中止するという報せは各方面に多大な反響をまき起しているが、消息筋の情報を総合してみると、どうやらその原因はレコードの売行不振というよりも多分にお家騒動的な臭いが濃く、現在の文芸部を締め出そうとしたことに端を発した気配が濃厚だといわれている

曽根史郎

戦後再建されてからの同社には、昨秋元ビクターの石谷正二氏ほか数氏が文芸部に入社、その強化をはかっていたが、この人たちと従来からいる旧ポリドール系の人たちとの間がとかくシックリと行かず、ついには旧ポリ系の人たちが元ビクター系で抑えている文芸部をそっくり追い出そうと企てたのが今回の挙になったのだという噂が高い

退職する人々の期限は今月末となっているが、増谷同社社長の腹は現在なお変りつつあるので問題が落着するまでにはまだ幾多の波乱が予想されている

なお邦盤の廃止により、曽根史郎らの専属アーチスト達の動きが注目されているが、現在までのところでは曽根にビクターからちょっと誘いの水がかかった程度で、不安な中にも一同は割合平静を保っている模様で、直接邦盤の製作・発売の中止が目標でなかったといわれるだけに、邦盤再開は近いという見通しを建てているものも少なくないのが、このように案外平静な理由だともいわれている

酒と女のカップル

踊るマリオン・ジョーンの二人

○…ジンとブドウ酒壜をそれぞれ頭からスッポリかぶった黒と金髪の美人たち、マリオン・ロス㊧とジョーン・コーベットのお二人さん、これはモンタージュ写真じゃないんですぞ、いや、お正月ですからな、ヤンキー諸君もやっぱり酒を食らって騒ぎたいんですわい、アルコールが入ってドリがキレイに見えて来るちゅうあんばいでな、ホレ“酒と女”は昔から洋の東西つきものであね、そこでこの二つを一つにしてみたのがこの踊り、なにネ、ビンといったってガラスじゃねえ、プラスティックだあよ（UP＝サン）

左幸子、松竹初出演お流れ・

原研吉監督の『路傍の石』で松竹初出演が予定された左幸子は、このほど新東宝作品とのスケジュールが折り合わず結局お流れに帰した、左幸子の新東宝作品は渡辺邦男監督の『毒蛇の窟』（前後篇）で一月十五日撮影開始する

“ゴジラ”続篇と“雪男”東宝で撮影を開始

“雪男”一般から募集

東宝では特撮映画として『ゴジラの逆襲』『怪獣雪男』の二本を決定、両作品とも一月下旬から二月上旬にかけて撮影開始する、今度の『ゴジラの逆襲』は『ゴジラ』に比較して製作日数が十日間増しの八十日、製作費が一千万円増しの八千万円を見込む大がかりなもの

また『怪獣雪男』は身長十一尺体重五十貫、生きながらの熊の咽喉をしめあげてねじり切る半人半獣が主役で、その“雪男”に起用する日本一の巨人を一般から募集する

二月十日締切で、二月下旬から全国各地で予選審査を行い三月に最終審査を行って合格者を決定する

（劇団稲の会第一回公演）劇団稲の会、第一回公演として十八、九、卅の三日間、芝中労委会館でゴーゴリ作、わだよしお演出で『暴』三幕九場を樋口稲演出でグレゴリー作、岡本成蹊訳『月の出』一幕を中井信吾演出で上演する、開演一時、六時

庭先へ砲弾

とんだーオトシダマでした

宇都宮射撃場周辺住民

喜多新舞台披露

戦後多年にわたる喜多流一門の懸案であった能舞台の建設もようやく実を結び、このほど品川区上大崎四の二四五に新舞台が完成、その披露能十三一六日の四日間行われる、その能組は

▽招待、第一部（十三日十時）『翁』喜多六平太『二人袴』（狂言）『猩々』……

寄席中席

▼上野鈴本＝（昼）玉遊、夢楽、権太楼、小柳、枝太郎、牧野周一、可楽、李彩、馬琴、天洋、三木助、今輔、柳好（夜）柳昇、花島、小柳枝、円遊、山野一郎、円馬、紋也、痴楽、ぴん助、美代鶴、小文治、正楽、ひろし・まり、枝雀、柳橋

▼新宿末広＝（書）馬楽、百生、小圓朝、小伯山、圓蔵、馬風、さん馬、松太郎、正蔵、柳枝、石田一松、小さん、龍光、文楽、浅草桃太郎（夜）今松、浪花大團、美蝶、かつ江、英二、喜美江、貞山、圓歌、馬生、千太・万吉、圓生、右女助、菊春、志ん生

▼池袋演芸場＝金太郎、三五郎、芳江、伸治、小金治、梅橋、圓遊、講輔、さくら、柳枝、牧野周一、司郎・喜世美、三木助、痴楽、紋也、

▼人形町末広＝喜代太夫、つばめ、さん馬、圓蔵、貞丈、千太・万吉、圓生、正蔵、右女助、菊春、かつ江、志ん生、小さん、英二・喜美江、柳枝、文楽

▼川崎演芸場＝かしく、小圓馬、遊三、助六、米丸、ひろし・まり、圓馬、可楽、枝太郎、猫八、山野一郎、圓遊、ぴん助・美代鶴、小文治

▼浅草末広＝（書）小伸治、志ん好、悦郎・艶子、鶴松、米蔵、文楽、貞吉、右女助、仙寿郎・小金園生、千太・万吉、正蔵（夜）喜代志、富志松、雪雄、馬風、志ん生、龍光、小さん、笑子・美智子、松太郎、さん馬、浅草桃太郎、貞丈、圓歌

▼十番倶楽部＝市馬、春楽、馬生、柳香、百生、小圓朝、柳枝、染の助、染太郎、圓蔵、文楽、貞山、正蔵、千太、万吉、圓生

▼本牧亭＝（書）琴洲、南遊、馨慶、ろ山、南鶴、馬琴、芦洲（夜）講談離友會（十一日）新内松葉會

映画やぶにらみ

白鷺三味線

松竹作品

▽…原作は村上元三、要するに美男で旗本の道楽息子（高田浩吉）に女難（島崎雪子、淡島千景）や剣難（近衛十四郎、加藤嘉）などが次々に降りかかって来る物語、最後は大利根河原に愛人と二人白刃のフスマに取囲まれてあわや万事休すというところでチョン、演出岩間鶴夫

▽…筋立はなかなか華やかで楽しいが、岩間演出には何かスピードが欠けている、特に高田が飯岡助五郎（柳永二郎）一家にワラジを脱いでから笹川繁蔵（市川小太夫）一家への殴り込みにいたる間の運びが甚だもたついていて要領が悪い、笹川一家に関八州の親分衆が花会で集まるシーンなども浮き上った感じだし、島崎が下総の竹ヤブの中で近衛から手ごめにされかかったところへ忽然と短銃を持った下男たちが江戸から現われて救うなど都合主義の極み、島崎の純情娘も一本調子で淡島も冴えないが、浪花千栄子や市川、近衛などの脇役陣がいゝ、まずB級の娯楽作品（透）

その一場面高田㊨と淡島

（十二日）天狗會（十三日）貞丈會（十四日）露色研究會（十五日）山姥會（十六日）松鯛會（十八日）新内鶴賀會（十七日）習遊、古賀太夫二人會（十九日）楽しみ會（廿日）

▼宝生九郎記念能　宝生流宗家九郎の舞台生活五十年を記念する能が十六日正午から水道橋能楽堂で行われる、番組は宝生九郎の『船弁慶』（双調の舞）のほか難子『熊野』近藤乾三『乱』宝生英雄、狂言『昆布売』三宅藤九郎などがある

▼喜多某水会△廿三日十時、品川区上大崎四の二四五喜多能楽堂『玉井』大島久見『田村』粟谷菊太郎『三輪』後藤楽天『邯鄲』粟谷菊生

▽…普段から丈夫な彼女もさすがに今度は疲れたとみえて寝ること、寝ること、延々廿五時間にわたったというが、やっと眼がさめたのが九日の朝、ところでその間には友達からの電話で起きたりしてチャンと話をしているのだが、さてこれが何の話だったかさっぱりおぼえていなかったなんて、今年はきっと育つよこの娘

▽…この正月は大阪から関西方面にご挨拶回りで休む暇のなかった東宝の北川町子、やっと八日の朝、淀橋の自宅へたどりついたが、早速お風呂へボチャンのバタンゲーで一ねむりとやったものだ

【写真北川町子】

石井きんざ選

二人とも飲めぬたちだが今夜の盃　千葉・鐵

半分ずつ飲む酒をつけ

池がうまって昔の夢が　墨田・良

へって六區の灯も淋しい

飲めぬ私を知ってる膝に　文京・木村いつ

酔わず貴郎は罪な人

酒を飲んでは一風呂浴びて　世田谷・森山到

昔を偲せるよい身分

覚悟はようくにきめてはいても　長岡・柳家雨太郎

怖い今夜の初ちぎり

姐さんにいわれやせぬかと二人の仲を　選者

気にして夢えない意気地なし

新春探訪